

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成12年 **2000.10**
月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第50号

金沢大学総合移転第II期計画事業 角間キャンパス 「工事のいま」

TOPNEWS



本部棟5階学長室から見た南地区工事現場（平成12年10月6日，林勇二郎学長撮影）[4頁に関連記事]

大学院医学系研究科保健学 専攻修士課程設置記念式典・ 祝賀会を挙行

9月29日，本年4月に設置された大学院医学系研究科保健学専攻修士課程の設置記念式典と祝賀会が行なわれ，約160人が出席した。

式典に先立ち，新築された医学部保健学科3号館が出席者に披露された。[3頁に関連記事]



祝辞を述べる布村幸彦文部省医学教育課長（金沢市内のホテルで）

巻頭言

アカンサスニュース第50号の発刊に際して



副学長・附属図書館長
和田 敬四郎
(理学部教授)

1996年4月に第1号を発刊して以来、アカンサスニュースは第50号を迎える。1996年に教養部の廃止に伴って、いくつかの学部が改組され、外国語教育研究センターが発足した。それ以来アカンサスニュースは金沢大学のグラフ広報誌として、多くの情報を学内外に伝えてきた。1997年には50年史編纂室が出来たことを伝え、緑に囲まれた角間キャンパスの航空写真が紙面を飾った。1998年には創立50周年記念事業の後援会がスタートし、総合移転第Ⅱ期計画事業と宝町キャンパスの再開発もスタートした。1999年には金沢大学は50周年を迎え、盛大な式典や記念事業を挙行し、これまでの歴史を振り返りつつ、新たな半世紀へのスタートを切った。

岡田学長から林学長にバトンタッチされ、新しい体制ができた。第1回運営諮問会議も開催され、学外からの積極的な意見を取り入れ、またサテライト・プラザの開設によって学外への情報発信を試み、開かれた大学へと変貌しつつある。アカンサスニュースの紙面を通して金沢大学の最近の動きが読みとれる。じわじわ迫り来る少子化への対応、第10次の定員削減も具体的数字が示された。独立行政法人化も目の前に来ている。このような中で、部局の特徴を生かしつつ、総合大学としての金沢大学をもっと発展させるために何をすべきか、さらに基本理念にもあるとおり、世界に向けて情報発信する研究志向型の大学づくりのために何をなすべきか、金沢大学としての検討が急務であろう。

第50号を発刊するに当たって、デザインを一新し、新しい企画で再スタートすることになった。これまでの発刊に携わってこられた方々の労をねぎらうとともに今後とも一層紙面の充実を図って頂けることを期待したい。

自然科学研究科

31人に博士・修士の学位記授与

9月29日、学位記授与式が行われ、31人に学位記が授与された。授与式で林学長は、「皆さんの研究成果、知の創成は、21世紀の科学技術を推進する上での貴重な財産、これを存分に活用することを期待したい」と告示を述べた。

学位記授与 博士後期課程修了者 14人（理学5，薬学1，工学6，学術2）
博士前期課程修了者 4人（理学4）
論文博士 13人（理学5，薬学3，工学5）



学位記を授与する林学長

目次

角間キャンパス「工事のいま」……………	1
大学院医学系研究科保健学専攻修士課程設置記念式典祝賀会を挙……………	1
アカンサスニュース第50号の発刊に際して……………	2
自然科学研究科 31人に博士・修士の学位記授与……………	2
⑧大学院保健学専攻修士課程設置……………	3
大韓民国釜山国立大学校と交流協定締結……………	3
総合移転工事着々進行……………	4
医学部附属病院・教育学部附属養護学校 工事進行中……………	5
夏休み中 学生も教官も授業に汗……………	6
心理的サポートでシドニーオリンピックへ……………	7
作家・辺見庸氏の特別合同授業……………	7
工学部がロボット・デモに参加……………	8
教養教育運営委員会研究調査部公開講演会……………	

会計系事務職員簿記研修開催……………	8
理学部で実験・実習・防災に関するガイダンス……………	9
平成12年度 実験動物慰霊祭挙……………	9
「平成12年度語学要員養成研修」始まる……………	9
金沢大学サテライト・プラザ……………	10
海外出張報告……………	11
記念式典で一堂に……………	11
国際交流コーナーを設置……………	11
キャンパス点描……………	11
「角間の里山」に県外からも研修……………	12
秋季美化できれいなキャンパス……………	12
編集後記……………	12

9月のビッグニュース

㊦ 大学院保健学専攻修士課程設置 設置をよろこび医療の発展を誓う

保健学専攻修士課程設置記念式典で、馬淵宏医学系研究科長は、「看護学、放射線技術学、検査技術学、理学療法学、作業療法学の5分野で、基礎研究の推進と学問体系の確立を通して、最先端の保健医療技術の研究開発で社会のニーズに応えたい」と式辞を述べたあと、林勇二郎学長が、4月に77人の第一期生入学式での新鮮な印象も含めてあいさつをした。

続いて布村幸彦文部省高等教育局医学教育課長から、「近年の医学・医療の高度化、人口の高齢化、疾病構造の変化などにより保健・医療・福祉に対するニーズは多様化し、最先端の保健医療技術の開発発展が期待されている」と祝辞があった。

岡田晃前学長はじめ来賓から祝辞があり、森喜朗内閣総理大臣、谷本正憲石川県知事、山出保金沢市長などからの祝電が披露され、式典を閉じた。

このあと、祝賀会で設置を祝った。〔1頁に関連記事〕

医学系研究科保健学専攻設置までのあゆみ（抄）

昭和47年5月	医学部附属看護学校、診療X線技師学校、衛生検査技師学校を統合して金沢大学医療技術短期大学部（3年制）設置
昭和52年4月	専攻科助産学特別専攻（1年制）設置
昭和54年4月	理学療法学科、作業療法学科設置
平成7年10月	医療技術短期大学部を医学部保健学科（4年制）に改組
平成12年4月	保健学専攻修士課程設置



式辞を述べる馬淵医学系研究科長



開宴のあいさつをする永川宅和
医学系研究科保健学専攻長

祝賀会で

大韓民国釜山国立大学校と交流協定締結

9月26日、花岡美代次副学長が、大韓民国の釜山国立大学校に林勇二郎学長署名の協定書を持参し、同大学朴左潤総長と交流協定を締結した。この交流協定の署名式に、医学部、薬学部、がん研究所の教授が同席した。

〔11頁に関連記事〕



釜山国立大学校で花岡副学長と朴総長

9月のニュース

総合移転工事着々進行

平成8年度から始まった角間における総合移転第Ⅱ期計画事業は、現在、調整池及び敷地造成の基幹整備事業が行われている。

この間の“移り変わり”のお知らせ。

第Ⅱ期計画事業（南地区）

年 度		12	13	14	15	16	17	18	19	20
基幹整備	調整池									
	敷地造成									
	屋外運動場									
	環境整備									
	設備関係									
南地区	大学院研究棟									
	学部教育棟									
	自然科学系図書館、福利施設									
	センター・ハードラボ									
	プロジェクト研究棟									
	がん研究所									
	研究交流棟									
	屋内運動場、課外活動施設									
	外国人教師宿泊施設、学生寮									

『金沢大学総合移転』（平成12年9月発行）より



平成10年8月 工事をはじめた頃、山はそのまま。（施設部撮影）



平成11年11月 樹木の伐採すすむ。（施設部撮影）



平成12年4月 土砂の運搬、移動はじまる。（学長室から林学長撮影）
学長室から平成12年10月現在の写真は1頁に掲載

9月のニュース

医学部附属病院
教育学部附属養護学校

工事進行中

医学部附属病院再開発計画

宝町キャンパスで、医学部附属病院再開発計画に基づく病棟の建設が進んでいる。平成13年の秋完成する予定で、完成後は、現在のがん研究所附属病院が統合される。

現在の医学部附属病院再開発完成予想図
(平成10年4月作成)



工事中の医学部附属病院（平成12年8月現在）

教育学部附属養護学校 校舎全面改装及び体育館新築工事

教育学部附属養護学校（東兼六キャンパス）では、校舎の全面改装工事が行われ、授業はプレハブの仮校舎で行われている。体育館の新築工事も同時に進行中。共に平成12年度中に完成する予定。

現在の総合移転第Ⅱ期計画事業完成予想図
(平成12年2月作成)



教育学部附属養護学校工事現場及びプレハブ仮校舎現場を視察する浦田東作養護学校副校長（写真右）と西田勉教育学部事務長（その左）（平成12年9月現在）

教育・いま

夏休み中 学生も教官も授業に汗

金沢大学は、8月・9月は夏季休暇となっているが、この間にも教育実習をはじめ、たくさんの授業が行われた（別表参照）。

なお、医学部医学科は3学期制のため、専門科目の授業は9月から行われている（附属学校・附属幼稚園も9月授業開始）。



地学野外実習（福井県九頭竜川上流で理学部学生）



教育実習（教育学部附属小学校で教育学部学生）

夏季休暇中の実習

学 部	実 習 科 目	受講者数(人)
文 学 部	博物館実習ほか3科目	29
教育学部	教育実習ほか9科目	524
理 学 部	地学野外実習ほか5科目	175
医 学 部 (保健学科)	健康管理看護実習ほか4科目	211
工 学 部	学外技術体験実習Aほか1科目	98



機能障害評価学実習（医学部附属病院で医学部保健学科学生）

トピックス

心理的サポートで
シドニーオリンピックへ

教育学部石村宇佐一教授（体育学・スポーツ心理学）は、9月20日から25日までの6日間、オリンピックに出場し、6位で入賞したトランポリンの古章子選手（金沢学院大学非常勤講師）の心理的サポートとして、オーストラリアのシドニーへ。石村教授は、古選手が金沢大学の入学から大学院教育学研究科修士課程修了までの6年間、指導した。

石村教授談

古選手は本学に入学以来、私の研究室でメンタルトレーニングを勉強しました。競技当日「集中せい」と励ましました。オリンピックは異常な雰囲気につつまれ、そこでの競技をすることは強い精神力が要求されます。その中で、古選手はよく頑張って成果をあげたことは立派でした。私自身も貴重な経験をさせて頂きました。本学では、かつて体操で辻宏子さん



オリンピック会場で（石村教授と古選手）

をオリンピックに送りこんだ実績があります。地方からオリンピックに送りだせる国立大学といえます。

10月に開かれる体育学会で「スポーツ科学の21世紀への提言ーシドニーオリンピックに学ぶ」シンポジウムで座長をつとめます。今回の経験を生かしたいと思っています。

シドニーでは、私の専門であるバスケットの競技を、2時間も並んでやっとチケットを手に入れ観戦しました。激しいアップダウンのマラソンコースをバスで走り、優勝した高橋尚子選手のすばらしさを改めて感じました。

シドニーはきれいな町です。美術館の横に憩いの場があるなどは、金沢も学びたいですね。



オリンピックが開催されたシドニーのハーバードブリッジ（石村教授撮影）

附属高校

作家・辺見庸氏の特別合同授業

附属高校は、9月28日午後、『もの喰う人々』の著者として知られる作家の辺見庸氏を講師に迎え、「旅しよう！恋しよう！」の演題で特別合同授業が行った。

講演の内容は、元従軍慰安婦との出会いや残飯を食べる子ども達の様子など、氏が世界各国を渡り歩く中で体験したことや見聞したこと、また、それらを通して氏の鋭い感性でつかみとった考えや価値観などにつ

いての体験に基づく話に生徒たちも熱心に聞き入っていた。

同校の「特別合同授業」は、昭和46年から続いているもので、本年度は2度目。



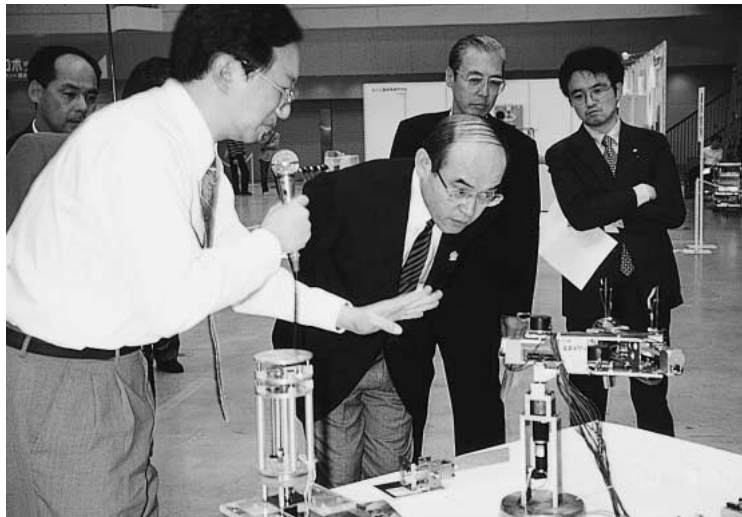
講演する辺見庸氏

トピックス

工学部がロボット・デモに参加

9月30日、10月1日の2日間、石川県産業展示館で「平成12年度ロボット・ワールドいしかわ」の「ロボット・デモンストレーション」に、工学部からロボットを出品した。ロボットは、工場の生産ラインで働くロボット、家庭用として期待されるロボットと、広く知られているスキューロボットの3種。

少・中・高校生や、「スポレク石川2000」の参加者など2日間で500人以上が訪れ、教官や院生の説明に熱心に耳を傾けた。併せて工学部の入学案内や工学部80周年記念事業の広報活動も展開した。



ロボットアームの説明をきく谷本正憲石川県知事，説明は関啓明工学部教官

教養教育運営委員会研究調査部公開講演会 「学生による授業評価について」

教養教育運営委員会研究調査部主催の本年度第1回公開講演会が、9月29日総合教育棟で開催された。講師は、東海大学理学部の安岡高志教授で、演題は「学生による授業評価について」。安岡教授は、大学大衆化時代における「授業研究」では第一人者とされている。

当日は他大学も含め教職員約50人が出席し熱心に聞き入り、講演後の質疑応答も熱のこもったやりとりがあった。



講演する安岡東海大学教授

会計系事務職員簿記研修開催

平成12年度金沢大学会計系事務職員簿記研修が9月13日事務局会議室で開催された。

この研修は、日本商工会議所が実施する日商簿記検定3級試験に合格できる実力の修得をめざし、学外から講師を招き11月17日まで11回にわたり実施される。各部局から23人の職員が、熱心に受講中。

また、10月12日には監査法人から講師を招き、簿記研修受講者及び全学からの希望者を対象に「独立行政法人会計基準」のテーマで講演会を実施する。



講義をする長田和彦税理士事務所所長（右）

トピックス

理学部で実験・実習・防災
に関するガイダンス

9月28日午後、後期授業から専門課程の実験・実習が本格化する2年次学生約160人と職員を対象に、廃液処理法や実験・実習時の安全及び防災に関するガイダンスが実施された。続いて災害時の避難・誘導、消火器と消火栓での消火訓練が本番さながら実施された。

参加者は、安全と防災の重要性を学び、10月からの授業に備えた。



田中稔雄理学部
事務長・防火管
理者（写真上）

安藤利得教授
（写真左）



消火器使用訓練

平成12年度
実験動物慰霊祭举行

9月26日、医学部・薬学部・がん研究所の共催で、平成12年度実験動物慰霊祭が行われた。

昨年建立した「実験動物の碑」の前で全員が黙祷の後、医学・薬学のために命を捧げた動物に対し、馬淵医学部長が「尊い命を無駄にすることなく、人類の健康の増進、疾病からの解放及び福祉の向上に役立てます」と感謝と哀悼の意を表した。

あいにくの雨にもかかわらず、教職員及び学生150人が献花を行い、静かに手を合わせた。



「平成12年度語学要員養成研修」始まる

この研修は、事務職員、図書館司書、技官等に外国語能力の向上と国際的な教養・知識を修得させるために実施されるもので、今回初めての韓国語コースを含めて5コース17人が受講。平成12年9月から、平成13年3月まで実施される。

9月4日に開講式が行われ、水上修一事務局長は、受講生対し意欲的に学習するよう励まし、将来語学を活用して活躍することを期待する旨のあいさつを行った。

受講生：英語上級 3人、英語中級 3人、英語文書作成 6人
中国語 3人、韓国語 2人



開講式で“決意”を述べる受講生代表。右は水上事務局長

サテライト・プラザ

「金沢大学サテライト・プラザ」

＝ミニ講演は連続満席＝

9月2日、金沢市街地の石川県社会教育センターで、「サテライト・プラザ オープニングセレモニー」が行われた。以降9月中に3回開設され、ミニ講演を中心に200人を超す参加者があつた。

第 月 日

講師 和田 敬四郎
(副学長・附属図書館・理学部教授)

演題 「これまでの大学・これからの大学」

多くの方々に気軽に来室していただくために、格式ばらないことという学長の意向で、当日は、男性の教職員にノーネクタイで参加するよう呼びかけた。17時から「サテライト・プラザ」開設を祝う会があつた。来室者：60人



13時30分からの「サテライト・プラザ」のオープン・セレモニーで林学長が「地域との結びつきの場として発展させたい。」とあいさつした。



和田副学長

第 月 日

講師 川島 和代
(医学部保健学科助教授)

演題 「介護する方される方—介護される側の心理」

ミニ講演に、介護のボランティアをされている方がたくさん参加された。科目等履修生、推薦入学などの相談があつた。

来室者：80人



高校生と相談



川島助教授

第 月 0日

講師 中西 孝
(理学部教授)

演題 「僕らはみんな星のかげら」

ミニ講演に、中学生25人、高校生11人が聴講した。生徒から「総合的学習」についての相談などがあつた。

来室者：82人



熱心に聞き入る中・高生



中西教授



学長・副学長室から

海外出張報告

交流協定締結のためスロバキア及びチェッコを8月下旬に訪問した林学長の帰朝報告会は、9月20日午後5時から事務局大会議室で行われ、約60人の教職員が聞き入った。



記念式典で一堂に

9月29日に行われた保健学専攻修士課程設置記念式典で、学長・副学長が出席した（和田敬四郎副学長は海外渡航中のため欠席）。



写真右から、林勇二郎学長、花岡美代次副学長、畑安次副学長、馬淵宏大学院医学系研究科長、永川宅和医学系研究科保健学専攻長、水上修一事務局長

国際交流コーナーを設置

本部棟5階（副学長室前）に、大学協定校との交換記念品等を展示する国際交流コーナーを設置した。



大韓民国釜山国立大学校にて

大学間協定の調印式のあとの記念撮影。〔3頁に関連記事〕



写真左から山本博（医）、佐藤博（がん研）、左から4番目村上清史（がん研）御影雅幸（薬）、辻 彰（薬学部長）、石橋弘行（薬）二階堂修（薬）の各教授。
前列、花岡副学長と朴総長

キャンパス点描

医学部保健学科構内の白樺

医学部保健学科の前身、医療技術短期大学部が昭和47年に設置されたのを期に、故豊田文一元金沢大学長（元医療技術短期大学部学長）が、富山県の山岳から構内に移植したもの。



（写真撮影：金沢大学学生写真部）

「角間の里山」に県外からも研修



金沢市役所職員の研修

角間の里山は、多くの
方々に活用されている。

9月中では、8日午後、金
沢市役所から土木技術職
員約25人が「里山の自然と
その保護について」研修を
行った。30日には1日かけて富山市の「市民いきものメイト
オープンカレッジ」が行われ、「里山活動の事例も知る 金
沢大学の事例を知る」のテーマで約20人が参加した。

これらは、理学部の中村浩二教授が講師を務めた。10月に
は、地元の田上小学校や本学教育学部附属小学校児童のどん
ぐり拾いや、市民参加の「竹炭づくり」などが行われる。



富山市から

秋季美化できれいなキャンパス

春季美化に続いて、9月14日から秋季美化が各キャン
パスで行われた。教職員による草刈りや空き缶拾いで、キャン
パスがきれいになった。部局によっては学生・院生も参
加した。



草刈をする職員（角間キャンパスで）

お 知 ら せ

11月3日（金・祝日）に「ふれてサイエンス 理学部見学会」。4日に、ミレニアムフォーラム「物質構造科学の最前線」を理学部で実施。
11月3日（金・祝日）をメインに「工学部80周年記念事業」。11月1日から4日まで、多くの行事が工学部キャンパスを中心に実施。
10月30日（月）締切り。「セクシャル・ハラスメントに関するアンケート調査」に協力を。

編 集 後 記

さすがに10月ともなると朝夕めっきり涼しくなっ
てきました。それにしても今夏は本当に暑かった。それで
もここに至るとその暑ささえ忘れようとしている。

“喉元過ぎれば熱さ（暑さ）忘るる”なのだろうか。
今号は、角間Ⅱ期移転のキャンパスの整備状況の経過を
学長室からの風景として掲載しました。林学長自らの撮
影によるものです。変化が良くわかります。

また、金沢市内ヘサテライトプラザを設け、県市民
の皆様へ大学の現況を、素顔を見せようという試みも始
まりました。今のところ広報及び職員の協力の効果が出

て、相談件数も増え、先生方のご協力によるミニ講話に
も、大勢の皆さんが見えている。その参加者からの意見
は“この企画は良いですね”。やはり角間だとわざわざ
出かけなければならないということなのか。このように
すばらしい企画も継続してこそ力になり根付くものだ
ろう。“喉元過ぎれば……”にさせないように。

50号発刊を機に、表紙のデザイン等々模様替えを行
いましたが、読者の皆様にどのように写っているのだ
しょうか、ご意見をお待ちしています。

（総務部長 吉田真言）

平成12年10月20日発行
（原則として毎月1回第3週に発行）

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-6136
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ〈愛称“KUPIS”（キューピーズ）〉
（アドレス＝<http://www.kanazawa-u.ac.jp>）でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール（E-mail）＝general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。